ぬまた市議会だより 特別版

子ども議会だより

第64号 子ども議会 令和4年 2月1日

子どもたちの夢や感性を市政に活かす

市内小中学生と利根沼田の高校生代表による「子ども議会」を11月21日、テラス沼田議場で開催。新型コロナ対策として2組に分けて実施しました。

子ども議会は、子どもたちの夢や豊かな感性を市の発展に反映させること、行政やまちづくりへの関心を高めてもらうことを目的に毎年開催されており、次代を担う子どもたちがふるさと沼田についてどう思っているのか、どんな夢や希望を抱いているのかを知ることができました。

25人の子ども議員は、それぞれ自分たちで考えた『学校給食の食べ残し問題』、『一人一台パソコンの活用』や『市内観光』、『獣害防止策』など、身近な問題や市全体の問題など、様々な市の課題について、堂々と質問や提言をし、自分たちの意見・要望に対する市長、教育長の答弁を真剣に聴いていました。

子ども議員の意見や要望は、今後の沼田市のまちづくりに反映されます。

沼田の未来を考える!!

25人が市長・教育長に意見・要望

家族や親戚のサポートが受けられない一人暮らし高齢者への日常生活援助の取り組みは

尾瀬高2年　**金子　楼依（るい）**

『広報ぬまた』に各小中学校の子どもたちの手作りページを載せては

沼北小6年　**片桐　大翼（だいすけ）**

食品ロスの問題から学校給食の食べ残しはどうなっているか

沼東小6年　**間野　心々香（みみか）**

沼田に縁のある著名人によりＳＮＳや動画で沼田の観光スポットを楽しく紹介しては

沼田高2年　**角田　貴紀（たかのり）**

市内に自習室や塾などの勉強できる場所を増やすことは可能か

沼女高2年　**阿左見　優奈（ゆな）**

沼田の自然環境を豊かで美しいまま守るための取り組みは

升形小6年　**千明　心響（しおん）**

洋式トイレの数を増やすことを含めて、トイレの環境をもっと良くする取り組みは

薄根小6年　**鈴木　捺萌（なつめ）**

強みを伸ばしてから欠点を減らすことで効率よく沼田を活性化できるのでは

利根実高3年　**芳野（よしの）　成海（なるみ）**

一人一台の端末をどう使っていくのか
パソコン室のパソコンはどうするのか

池田中3年　**角田　悠介（ゆうすけ）**

大通りだけでなく、住宅街や裏通りにも一定数の街灯を

沼田中3年　**井上　愛椛（まなか）**

高齢者が増え、介護者や年金を支える人が減る中でどう対処していくのか

沼南中3年　**角田　大河（たいが）**

高額請求や勧誘など、消費者保護への具体的な対策や今後の活動は

白沢中3年　**阿部　帆乃果（ほのか）**

LEDライトなどを使った獣害防止策や他の対策は異常気象に対応できる商品作物の開発は

沼西中３年　**青柳　はるか**

図書館に行かなくても本の情報を知るサービスは小学生に本の魅力を知らせる取り組みは

川田小６年　**篠原　涼司**（りょうじ）

今後の新型コロナウイルス感染症対策と、子どもの精神面のサポートへの取り組みは

利南東小６年　**勝見　悠乃**（ゆの）

行ってみたくなるまちに向けて、中心市街地にスケボー広場の建設を

沼田小６年　**宮野入　椿**（つばき）

沼田市防災マップの内容を看板として通学路など通行量が多い場所に掲示しては

薄根中３年　**平田　桜子**（さくらこ）

『地元の人が気軽に立ち寄り楽しめる場所』と『観光地』を兼ね備えた魅力的な居場所を

沼東中３年　**新飯田**（にいだ）　**梨音**（りおん）

観光地の遊歩道や駐車場にゴミ箱を設置してはポイ捨てを少なくするための取り組みは

利根小５年　**坂本　唯斗**（ゆいと）

中心地から離れた地域に住む高齢者の憩いの場づくりと暮らしやすくなる工夫やサービスは

利根中３年　**星野　栞佑**（かんすけ）

３Ｒ運動を進めることで環境に優しい市になり、発展していくのでは

池田小６年　**秋永　柚**（ゆず）

観光を盛んにするため絵入りの看板や地図をインターチェンジなどに設置しては

多那中３年　**小林　ゆう**

小中学生も取り組める健康事業として、市内で使える割引券などが当たるチケットを

多那小６年　**本多　礼伊**（れい）

安全な通勤・通学・観光のため、滝坂に沼田のシンボルになるエレベーターを

利根商高１年　**高橋　茜空**（あかね）

質問の詳細、答弁は市HPをご覧ください

ずっと沼田に住みたい、一度離れても戻ってこようと思ってもらうために何をしているか

白沢小６年　**菅野**（かんの）　**駿介**（しゅんすけ）

横山公一市長

沼田市子ども議会は、平成14年度から開催し、今回が20回目となりました。平成28年度からは、小中学校の児童・生徒に高校生を加え、25名の子ども議員により開催しています。

子ども議員の皆さんからいただいた沼田市の諸問題に対するご意見等は、庁内で真摯に対応し、住みたいまち、住みよいまちになるよう取り組んでいきたいと考えています。

久保健二議長

第20回を迎えた今回の子ども議会も、学校や日常生活で学び感じていること、沼田市の活性化やこうなって欲しいといった希望などが活発に議論されましたが、皆さんの願いはきっと通じると思います。

これからも家庭や友達同士で地域のことを話題にし、この経験をもとに、議会や行政にさらに興味をもって将来の政治家が生まれることも期待しています。

横坂隆司教育長

沼田市子ども議会が、本年度も開催できたことを本当に喜ばしく思います。

市内小中高校生の代表者が、自分たちの考えや要望、提案などを発表し、行政やまちづくりなどに対する関心を高めてもらうことは、今後の本市発展のためにとても意味があることだと考えています。また、この経験が子どもたちの成長の一助になればと思っています。

子ども議員の感想（抜粋）

小学生

・緊張したけど、自分の意見をしっかり伝えられて良かった。

・沼田がもっと良くなるために、自分自身も頑張らなくてはいけないと思いました。

・沼田の自然環境について質問をして、自然環境を少しでも大切にしていこうと思いました。

中学生

・沼田がどう発展していくか、自分にできることはないかなど、興味を持つようになりました。

・市に対して自分の意見を発表する機会は少ないので、地域づくりに貢献できたことをとてもうれしく思っています。

高校生

・選挙権の年齢も引き下げられ、政治のことについて考えていく機会を増やしていく良いきっかけになりました。

・小中高生の様々な学年の様々な主張を聞いて良い学びとなりました。